

地域人材ネット

地域資源「オリーブ」を活用した 「農」「商」「観光」の地域活性化

大島 康孝 (おおしま やすたか)

大阪樟蔭女子大学 非常勤講師



○ 登録者情報

所在地

大阪府東大阪市

略歴

兵庫県出身。

京都市立芸術大学美術学部1974年卒。

株式会社乃村工藝社入社。2010年定年退社。

現在大阪樟蔭女子大学に専任教員として勤務。

2006～2008年度 ふるさと財団・地域再生マネージャー(香川県小豆島町)。

2006年 名古屋市都市景観賞まちなみ部門「徳川園」受賞。

2007年 大分県豊後高田市「昭和の町」店舗デザイン指導。

2008年 ふるさと財団・特別セミナー「地域再生マネージャーによる『高知県の魅力づくり』」にて講演。

2008年 安芸市の地域診断。

2009年 「地域再生マネージャーによる『宮崎県の魅力づくり』」にて講演。えびの市の地域診断。

2010年 中小機構に人材登録。農商工連携「食の発掘商談会イン香川」地域コーディネーター。岐阜県本巣市の地域診断。

2011年 愛知県美浜町の地域診断。地域再生マネージャーとして「本巣市観光資源発掘調査事業」を受託。中小機構地域活性化支援アドバイザーとして富山、大阪、滋賀、兵庫の中小企業を支援。

2012年 山形県寒河江市の地域診断。中小機構地域活性化支援アドバイザーとして大阪府枚方市の中小企業を支援。

○ 地域資源「オリーブ」を活用した 「農」「商」「観光」の地域活性化

取組の内容

2006年3月、町村合併により「小豆島町」が誕生。地域資源オリーブを活用して農業・産業・観光振興をはかり、オリーブの文化を育むことが目標です。

現状の調査・分析を行い、地元の思いと観光客の期待との意課題を抽出。オリーブ植栽100周年にあたる2008年に記念事業を構想し、それに向けて段階的に整備する方針としました。「国産オリーブの高級品」を開発するとともに、既存観光施設を見直し、見所ポイント抽出で体験性を強化し、サイン整備で回遊性を高めました。

2007年には持続可能な体験メニューの開発や、地域の食材を用いたメニュー開発など、都市住民等のニーズに応じた総合的な体験型観光サービスを提供することに取り組みました。

2008年には情報発信性を高めるため、展示施設「オリーブまるごと情報ギャラリー」を開設。来訪者の増加と、地場産品の売上増にも貢献しています。またオリーブ百年祭イベントを通じ、滞在者と地元住民の交流を促進しています。また、地元の知識と関心を高めるため「オリーブ検定」を実施し、島外からも多くの受験者が参加しました。

実績

- オリーブ栽培面積が3年で1.4倍に増加（2005年47ha→2008年75ha）
- 収穫量が3年で1.5倍に増加（2005年89t→2008年130t）
- 新規参入の増加（2003年「オリーブ振興特区」認定時
地元企業3社→2008年地元企業9社＋農業法人2社に）
- オリーブ公園の年間利用者数前年度比120%増 2008年25.7万人
- オリーブ商品の品質向上 2007年12月「本場の本物」認定取得
- 2008年12月小豆島町は「総務大臣表彰における自治体表彰（頑張る地方応援表彰）」受賞
- 2015年東大阪市で商店街活性化とにぎわい創出のための調査研究(通行量・空き店舗状況調査及び今後の方向性提案)を実施

工夫した点や苦労した点

- 工夫した点は、課題に対して、行政・関連団体・農業生産者・民間企業が、それぞれ何をすればよいか、役割分担を明確化したアクションプランを作成したことです。これにより、官民の具体的な行動につながったと思われます。
- やや苦労したのは、隣町との連携。旅館・ホテル・飲食業が多い隣町は「団体客指向」であり、小豆島町は観光拠点が多く、産業中心の町で「個人客・グループ客」指向。観光振興には両町が一体となって連携することが必要ですが、観光に対する考え方に温度差がありました。

ひとことPR

地域活性の主役は地元の皆さんです。地元の方は、何をすべきかも良くご存知です。
ただ、地元だけでは見えない部分もあります。また、見えていてもしづらみが多く意見調整が難しい場合があります。
そこで、よそ者の視点で地域の良いところを探し、それを磨くお手伝いをさせていただきます。
地元に着心を持って熱心な方々とコミュニケーションしながら、ともに考え行動し、試行錯誤しつつ進められたらいいな、と思っております。
地域活性に正解はありません。他の成功例を真似しても、上手くいくとは限りません。地域の資源・歴史・風土・文化を活かしながら、独自の地域ブランドを構築していくことが重要です。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

連絡先

メールアドレス	yasutakaoshima7[at]gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[at]マークを『@』に変えてください。

戻る